

取扱暗号資産の概要説明書

概要書更新年月日	2026/1/15	
日本語の名称	スナップイットトークン	
現地語の名称	SNPIT TOKEN	
呼称（日本語の名称と同じ場合は一表記）	-	
ティッカーコード（シンボル）	SNPT	
発行開始（年、月、日）	2024年4月26日	
時価総額（ドル基準、例：\$ 1,000,000）	¥3,556,384	
時価総額（円基準、例：¥ 100,000,000）	¥515,000,000	
主な利用目的	送金、投資	
利用制限の有無	なし	
海外流通の有無	あり	
国内流通の有無	あり	
店舗等の利用制限の有無	なし	
利用制限を行う者の属性	-	
利用制限の内容	-	
一般的な性格	<p>SNPTは「Snap to Earn（撮影して稼ぐ）」という機能を持つブロックチェーンゲームSNPITの独自トークンとして発行される。</p> <p>SNPITでは、ユーザがカメラNFTで写真撮影したり、写真バトルで勝利する・勝者に投票した事等により、その報酬としてゲーム内ポイントであるSTP（SNPIT POINT）を取得できる。</p> <p>ゲーム内ポイントSTPはカメラの性能アップやアイテム購入に利用可能であり、更にアプリケーション内においてSNPT（SNPIT TOKENS）と交換可能である。</p>	
【基礎情報】	法的性格（資金決済法第2条第14項第1号、第2号の別例：第1号）	第1号
	2号の場合：相互に交換可能な1号暗号資産の名称	-
	発行暗号資産に対する資産（支払準備資産）の有無および名称	なし
	発行者に対する保有者の支払請求権（買取請求権）	なし
	支払請求（買取請求）による受渡資産	なし
	発行者が保有者に付与するその他の権利	なし
	発行者に対して保有者が負う義務	なし
	価値の決定	保有者間の自由売買による
	交換（売買）の制限	なし

価値移転、保有情報を記録する電子情報処理組織の形態	パブリック型ブロックチェーン	
保有・移転記録台帳の公開、非公開の別	公開	
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録	
利用者の真正性の確認	秘密鍵と公開鍵を用いた暗号化技術により、利用者本人が発信した移転データと特定し、記帳する	
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	・ Polygonに依拠するため、以下にPolygonについて記載する Proof of Stake (PoS) に則って、記録者（バリデータ）が取引履歴を管理し、ブロックを承認する	
誕生時に技術的なベースとなったコインの有無とその名称（アルトコインのみ）	Polygon	
〔取引単位・交換制限〕	取引単位の呼称	SNPT
	保有・移転記録の最低単位	0.000000000000000001SNPT
	交換可能な通貨又は暗号資産	全て可
	交換制限	－
	制限内容	－
	交換市場の有無	あり
〔連動する資産の有無等〕	価値が連動する資産等の有無	－
	価値連動する資産等の名称	－
	価値連動する資産等の内容	－
	価値連動する資産との交換の可否	－
	価値連動する資産との交換比率	－
	価値連動する資産との交換条件	－
その他の付加価値（サービス）の有無	あり	
付加価値（サービス）の内容	SNPITアプリ内で以下の付加価値を提供。 ①カメラのレベルアップ、カメラのmint、カメラ修理、追加フィルム ②フレンドトーナメントの開催 ③企業広告 ④写真データベース利用	

【付加価値】	過去3年間の付加価値（サービス）の提供状況	<p>①HISモデルのカメラNFT販売 https://www.his.co.jp/news/16886.html HISコラボ旅行キャンペーン</p> <p>https://x.com/SNPIT_BCG/status/1862014965953257772</p> <p>②ピクトレコラボ https://pictree.greenwaygrid.global/news/714/</p> <p>③「転生したらスライムだった件」とのコラボ https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000119.00047553.html</p> <p>④1周年オフラインイベント12/8 https://x.com/SNPIT_BCG/status/1861060747641684475</p>
	【発行状況】	発行者
発行主体の名称		BOBG PTE. LTD.
発行主体の所在地		105 CECIL STREET #24-02,THE OCTAGON,SINGAPORE
発行主体の属性等		営利企業
発行主体概要		ガバナンストークン/ユーティリティトークン発行の実績を活用し、国内ブロックチェーンプロジェクトのトークン発行/管理/運用業務を担い、暗号資産取引所上場を含む包括的なグローバル進出の支援を実施。
発行暗号資産の信用力に関する説明		<p>・ Polygonに依拠するため、以下にPolygonについて記載する</p> <p>ネットワークに分散的に参加する記録者の承認によって、信用力が維持されている</p>
発行方法		<p>・ Polygonに依拠するため、以下にPolygonについて記載する</p> <p>MRC20: ブリッジプログラムによる随時・間接的発行</p>
発行可能数		1,000,000,000トークン
発行可能数の変更可否	不可	
変更方法	—	

	変更の制約条件	—
	発行済み数量	初期発行1,000,000,000トークン
	今後の発行予定または発行条件	なし
	過去3年間の発行状況	—
	過去3年間の発行理由	—
	過去3年間の償却状況	—
	過去3年間の償却理由	—
	発行者の行う発行業務に対する監査の有無	あり
	監査を実施する者の氏名又は名称	CertiK
	直近時点で行われた監査年月日	45404
	直近時点における監査結果	https://skynet.certik.com/projects/snplit
【 価 値 移 転 記 録 台 帳 に 係 る 技 術 】	ブロックチェーン技術の利用の有無	あり
	ブロックチェーンの形式	パブリック型
	ブロックチェーン技術を利用しない場合には、その名称	—
	利用するブロックチェーン技術以外の技術の内容	—
	価値移転認証の仕組み	<p>・ Polygonに依拠するため、以下にPolygonについて記載する</p> <p>Polygonでは、Proof of Stake (PoS) に則って、記録者（バリデータ）が取引履歴を管理し、ブロックを承認する。記録者になるにはMATIC（ERC-20準拠）をEthereumにステーキングする必要があり、記録者が悪意のある行動を取るとペナルティが課される（ステーキングしたMATICが没収される）台帳形式。</p>
	価値記録公開/非公開の別	公開
	保有者個人データの秘匿性の有無	あり
	秘匿化の方法	秘密鍵と公開鍵
	価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	<p>・ Polygonに依拠するため、以下にPolygonについて記載する</p> <p>記録者の多数決による確認を経て移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって信頼性を確保する。</p>
	記録者の数	Polygonのバリデータ：103 https://staking.polygon.technology/

記録者の分布状況	世界各地からバリデータが集まっているほか、バリデータに保有Polygonを委任するデリゲータが参加している
記録者の主な属性	<p>・ Polygonに依拠するため、以下にPolygonについて記載する</p> <p>報酬を得るためにステーキング活動を行っているステーキングプール及びプール参加者が主体</p>
記録の修正方法	<p>・ Polygonに依拠するため、以下にPolygonについて記載する</p> <p>ブロックに記録された後は修正・変更は行われない</p>
<p>【 価 値 移 転 の 記 録 者 】</p> <p>記録者の信用力に関する説明</p>	<p>・ Polygonに依拠するため、以下にPolygonについて記載する</p> <p>記録者による多数の合意がなければ不正が成立せず、記録者が十分に多数であることによって、個々の記録者の信用力に頼ることなく、記録保持の仕組みそのものにより信用が維持されている。また、Polygonの記録者になるためには、必要なMATIC（ERC-20準拠）をステーキングするだけの資金と、ノードを運用する能力を持っていないといけない。また、報酬を得るために正しい記録を行おうとするインセンティブが働く。</p>
価値移転の管理状況に対する監査の有無	—
監査を実施する者の氏名又は名称	—
直近時点で行われた監査年月日	—
その監査結果	—
(統括者に関する情報)	
記録者の統括者の有無	—
統括者の名称	—
統括者の所在地	—
統括者の属性	—
統括者の概要	—
価値移転ネットワークの脆弱性に関する特記事項	記録者が結託して2/3+1以上の投票力を獲得した場合、改ざんが可能である。
保有情報暗号化技術の脆弱性に関する特記事項	第三者に秘密鍵を知られた場合には、利用者になりすまして送付指示を行うことができる。

〔暗号資産に内在するリスク〕	発行者の破たんによる価値喪失の可能性に関する特記事項	—
	価値移転記録者の破たんによる価値喪失の可能性に関する特記事項	—
	移転の記録が遅延する可能性に関する特記事項	なし
	プログラムの不具合によるリスク等に関する特記事項	他の暗号資産と同様に、現時点でまだ発見されていない脆弱性を悪意のある攻撃者に突かれる一定のリスクは存在するものの、現状は正常に稼働している
	過去に発生したプログラムの不具合の発生状況に関する特記事項	—
	非互換性のアップデート（ハードフォーク）の状況	—
	今後の非互換性アップデート予定	—
	正常な稼働に影響を与えたサイバー攻撃の履歴	—
〔流通状況〕	価格データの出所	出所：Zaif Orderbook trading URL：https://zaif.jp/sp/trade/snpt_jpy
	1取引単位当たり計算単価（ドル基準、例：\$1,000,000）	\$0.0036
	1取引単位当たり計算単価（円基準、例：¥100,000,000）	¥0.515
	ドル/円計算レート 2025年6月30日基準	¥144.81
	四半期取引数量	2025年1月～3月 ¥55.9161834(百万円) 出所：Zaif Orderbook trading URL： https://zaif.jp/more_data/snpt_jpy/csv.html

付帯条件・付言	付帯条件	<p>①本プロジェクトの推進者であるBOBG社（発行体）・ Gallusys社・ チューリング社・ ZEAL NOVA社の4社が管理・保有（単独であるか共同管理であるかは問わない）し、ロック対象であるSNPTや、本プロジェクトの創業者や従業員等初期アロケーション時に割り当てられ、ロック対象であるSNPTについて、その残高の推移や動向に対する定期的なモニタリングを実施すること。加えて、万が一ロックアップスケジュールと異なる残高の減少や急激な残高の減少などが発生した場合には、その状況や詳細な内容について利用者へ速やかに公表・説明を行うこと。</p> <p>②利用者が『初期アロケーションと、各アロケーションのロックアップスケジュール』について容易に把握できるようホワイトペーパーをはじめとしたプロジェクト全容が記載された媒体において、その内容の情報提供をするようプロジェクト推進者に働きかけを行うこと。会員がプロジェクト推進者に働きかけを行ったにもかかわらず、その履行がなされない場合、会員にてその内容の情報提供を利用者に対して行うこと。</p>
	付言	<p>今後の社会情勢や、本暗号資産の利用状況の変化によってPlay to Earnに対する法的な懸念が生じた場合を想定したリスク管理策の構築を行う旨。</p>
備考		—